

記者発表資料

令和4年11月8日

国際ビジネス推進室国際ビジネス推進第一班

担当 佐藤, 土屋

電話 022-211-2962

E-mail gbl@pref.miyagi.lg.jp

MEDICA（国際医療機器展）2022 への県内企業出展について

—11/14～17 ドイツ デュッセルドルフ市で開催—

県は、ドイツ デュッセルドルフ市で開催される世界最大の医療機器見本市 MEDICA2022 内に出展ブースを確保し、成長産業である医療福祉機器産業に取り組む県内事業者の出展を支援します。

1 概要

MEDICA(国際医療機器展)は、1969年よりドイツで開催されている世界最大の医療機器見本市です。会場では、日本の中小企業のニーズが高い医療分野において、世界各地への販路開拓、技術提携等を支援する目的で、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）が「ジャパン・パビリオン」を設置しており、今回、当該パビリオン内に県が出展ブースを確保し、県内2事業者が出展します。

MEDICA2022

主催 Messe Duesseldorf GmbH (メッセ・デュッセルドルフ)

会場 ドイツ デュッセルドルフ見本市会場 (デュッセルドルフ市)

期間 令和4年11月14日(月)～17日(木)

その他 出展者 各国から3,033社 (MEDICA2021実績)

来場者 150か国46,000人 (MEDICA2021実績)

2 出展者（県内事業者）

(1) ボールウェーブ株式会社（仙台市青葉区）

J-Startup*にも選出されている東北大学発の注目のベンチャー企業。病気の早期発見に役立つガスクロマトグラフや、エアロゾル中のウイルスを直接検出するセンサ等の開発、製造に取り組んでいます。特にガスクロマトグラフは世界初の手の平サイズであり、その高い分析性能とポータブル性を活かして診断用として展開を見込んでいます。

※J-Startup 世界と戦えるスタートアップ企業を作り出すことを目的に2018年に経済産業省・NEDO・ジェトロにより運営されている企業支援プロジェクト。

(2) 株式会社OLPASO（仙台市青葉区）

医療現場での課題となっている人手不足や、それによって起こる人的ミスを解消するため、病院・健診施設での外来採血を支援する病院内の採血管準備装置、トレイ搬送自動採血台、バーコードラベルプリンターの企画・設計、製造・販売に取り組んでいます。